

## デザイン研究

### 木材の飾装性について (2)

#### — 飾り台のあるサイドボードの設計 —

楠 畑 裕 也

#### 1. 目的

省 略 (前年に同じ)

#### 2. 概要

目的にそってサイドボードを対象に、製品の機能性とともに加飾のための装飾をデザインポイントにして設計した。すなわち箱枠椽、開き戸、飾り台に厚材を使用して、木材の材質的な豊かさをみせるよう試みた。

2-1. 品 名 飾り台のあるサイドボード

材 料 タブ材

#### 3. 考察と成果

無垢の厚材は重厚なイメージを生み、木材のプリミチブな材質効果をもせてくれた。これは製品の高級化のための一つの手がかりになり得るであろう。この作品は試作所のオリジナル製品として、ジャパンファニチャーショウに出品された。

## デザイン研究

### I 木製照明器具に関する研究

### II 収納器具の機能性に関する研究 (継続)

田 原 健 次

#### I について

##### ○目的

特産材 (イス・タブ・屋久杉等) の高度利用化研究の一環として照明器具 (フロア一用電気スタンドのポール等木製部分) の実用化研究である。

##### ○概要

単体でメリット性が高く県内の一般企業レベルで実用化の目処ある木製品とし

て、照明器具を取り上げ高品質の室環境用具として、その有用性の適否を見極めようとしたものである。

##### ○成果

2カ年計画で具体化を進めたが、展示会等を通して企業の意見等を集約すると既製特産材品の次期製品として好評価を得、実用化についても企業サイドで考慮している段階であり、所期の成果を得た